

## 研究課題名 X線を用いた胃がん検診における追加撮影の有効性に関する研究

### 1. 研究目的・方法

X線を使用した胃がん検診（バリウム検査）において、検査を行っている診療放射線技師は、検査中に異常所見を認めた場合、その所見の存在と性状を読影医に伝えるために、通常の基準撮影に追加して撮影を行います。これを追加撮影といいます。追加撮影は、胃がんの発見や被ばく線量に直接関係するため、その有効性の評価が必要と考えます。

この研究では対象者様の中から無作為に抽出し、追加撮影がある100症例と、追加撮影のない100症例の2つのグループを作成し、当センター内で10人の診療放射線技師が比較・検討を行います。

なお、本試験は大阪がん循環器病予防センターの倫理審査委員会で科学性と倫理性を検討され、実施することの承認を受けています。

### 2. 研究の対象

2013年4月1日から2020年3月31日に、大阪がん循環器病予防センターでX線胃がん検診（バリウム検査）を受けられた方

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

対象者様のX線胃がん検診の画像と、精密検査結果の情報を研究に使用します。

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象から除外しますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

◎照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪がん循環器病予防センター

〒536-8588

大阪市城東区森之宮1丁目6番107号 電話 06-6969-6711

放射線技師室 蓮尾智之（研究責任者、試料・情報管理責任者）